

国際化とオープン化が進む研究環境における 研究インテグリティの確保に向けた 内閣府の取組



令和4年6月28日

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

山崎恵理子

内閣府によるこれまでの取組

時 期	内 容
2020年9月 ～2021年3月	研究インテグリティに関する検討会を開催 (内閣府令和2年度委託調査事業)
2021年3月	「研究インテグリティに係る調査・分析報告書」を公表 (内閣府令和2年度委託調査事業)
2021年4月27日	「研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保に係る対応方針について」を決定 (統合イノベーション戦略推進会議)
2021年12月17日	競争的研究費の適正な執行に関する共通的なガイドラインを改定
2021年12月17日	チェックリスト雛形(研究者向け、大学・研究機関向け)を公表
2022年3月	「研究インテグリティに係る調査・分析報告書」を公表 (内閣府令和3年度委託調査事業)

新たに確保が求められる「研究インテグリティ」

- 近年、外国からの不当な影響による利益・責務相反や技術流出等への懸念が顕在化。
- 主要国で国際研究協力を重視・大学等の自律性を尊重しつつ、対応策が講じられてきている。
- 我が国としても、こうした新しいリスクへの対応とともに、必要な国際協力及び国際交流を進めていくため、国際的に信頼性のある研究環境を構築することが不可欠に。



令和3年4月に決定した政府方針に基づき、大学や研究機関における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的確保に向けた取組を行う

リスク軽減の観点から新たに確保が求められる「研究インテグリティ」

従来、明示的に対応を進めてきた部分

研究の国際化やオープン化に伴う 新たなリスク に対し、対応を進める部分	
産学連携による利益相反・責務相反に対する適切な対応や、安全保障貿易管理等の法令順守などに関する部分	
不正行為(捏造、改ざん、盗用)への対応としての部分	その他不正行為(二重投稿、不適切なオーサーシップ)への対応としての部分

新たに求められる部分
(研究活動の透明性を確保、説明責任を果たすなどの、研究者や研究組織としての「規範」)

図 「研究インテグリティに係る調査・分析報告書」(2021年3月)より

政府としての対応方針 (2021年4月27日統合イノベーション戦略推進会議で決定)

外国の大学・企業等



資金・資機材供与

ポスト・プログラム提供

外国からの不当な影響

(例: 資金受領やプログラム参加の秘匿、研究成果の不当な帰属や非公開の要求)

研究者

適切な情報開示



人事・
リスク管理
・研修
外部支援
・兼業等
の報告

大学・研究機関

リスク管理強化



チェックリスト雛形
説明会・セミナー開催

所管省庁・関係府省
内閣府、文科省、
経産省、厚労省等

チェックリスト雛形
説明会・セミナー開催
規程や体制に関する周知・連絡

指針改定

公的資金
配分機関

申請時の情報確認

外部支援や兼業等の情報提出
所属組織への報告を誓約

申請

研究費配分

虚偽申告に対し所要の措置





研究者 自身による適切な情報開示

- 研究の国際化、オープン化に伴う新たなリスクを認識
例) 意図せず利益・責務相反に陥るリスク
技術・情報流出のリスク
- 自らの研究活動の透明性を確保し、説明責任を果たすことの重要性を理解
- 所属機関及び研究資金配分機関等に対して、必要な情報の適切な報告・申告を行うこと

【政府の対応】

- 研究者向けのチェックリスト雛形を公表
- 研究者、所属機関等への説明会・セミナーを開催



大学・研究機関 人事・リスク管理のためのマネジメント強化

- 所属する研究者の人事及び組織のリスク管理として必要な情報の報告・更新を受ける
例) 職歴・研究経歴、兼業等の所属機関・役職、所属機関外からの研究資金、資金以外の支援、相手方
- 利益相反・責務相反等に関する規程、管理体制を整備
- 報告・更新を受けた情報に基づき、産学連携活動における利益相反・責務相反管理と同様に、適切なリスクマネジメントを実施

【政府の対応】

- 研究者向けのチェックリスト雛形を公表
- 大学・研究機関等への説明会・セミナーを開催
- 関係の規程や体制の整備に関する周知・連絡

公的資金配分機関

申請時の情報確認



- 公的研究資金の申請時に、研究者から以下の情報提出を求める
 - a. 国内の競争的研究費のみならず、国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、全ての現在の研究資金の応募・受入状況に関する情報
 - b. 全ての現在の所属機関・役職(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む)に関する情報の提出を求める
- 上記の研究資金や兼業等に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等による支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき所属機関に適切に報告している旨の誓約を求める

【政府の対応】

「競争的研究費の適正な執行に関する指針」を改定

(2021年12月17日)

チェックリスト 雛形（研究者向け、抜粋）

1. 全般的な事項

- 外国の機関・大学等との共同研究や交流等に伴う、利益相反・責務相反が適切に管理されないリスク、技術流出・情報流出につながるリスク、信頼の低下リスク)等のリスクに留意するとともに、リスクが懸念される場合には所属機関の担当部署に相談等をしていますか？

2. 外国の機関・大学等との連携・契約や、外国からの報酬・物品の提供に係る手続きに関する事項

- 外国の機関・大学等との連携・契約において覚書等の書面を交わす際、所属機関の規程等に基づき担当部署に確認や判断を求めるなど、適切な手続きを経ていますか？
 - ✓ 書面を提示していますか？
 - ✓ 連携・契約における相手方の機関及び相手方の参加メンバーの情報を提示していますか？
- 外国の機関・大学等から補助金や助成金・報酬(※)・物品の提供を受ける際、所属機関に報告等を行っていますか？ また、上述のリスクが懸念されるようになった場合に、所属機関の担当部署に相談等をしていますか？

チェックリスト 雛形（大学・研究機関等向け、抜粋）

1. 全般的な事項

- 所属する研究者・職員が、外国の機関・大学等との共同研究や交流等に伴う、リスクに留意するとともに、必要に応じて機関として適切な対応をとることを求める仕組みがありますか？
 - ✓ 所属する研究者・職員がリスクを懸念する場合に、相談する窓口はありますか？
 - ✓ 所属する研究者・職員に対して、機関としてリスクに関する教育・研修を行う機会はありますか？

2. 外国の機関・大学等との連携・契約や、外国からの報酬・物品の提供に係る手続きに関する事項

- 所属する研究者・職員が、外国の機関・大学等と連携・契約において覚書等の書面を交わす際、機関の規程等に基づき、機関として確認や判断を行うなど適切な手続きを実施していますか？
 - ✓ 確認の際、書面の提示を求めていますか？
 - ✓ 確認の際、連携・契約における相手方の機関および相手方の参加メンバーの提示を求めていますか？
 - ✓ 所属する研究者・職員から、書面を交わす前に相談を受ける窓口はありますか？

大学・研究機関からのご意見

令和3年内閣府委託事業として研究インテグリティに係る調査・分析を実施(令和4年1月～3月)
その一環で実施した取組が比較的進んでいる3機関との意見交換で挙げたポイント

リスク評価・判断のサポート

- 研究活動の国際化・オープン化に伴う新たなリスクを判断する際に留意すべき項目や収集すべき情報について、具体的な指針があるとよい。

大学・研究機関向けのガイドライン

- 「競争的研究費の適正な執行に関する指針」などの関係府省の合意文書は、資金配分機関が実施すべきことが示されている。大学・研究機関が何をすべきかに焦点をあてたガイドラインがあるとよい。

研修プログラム

- 一般財団法人公正研究推進協会(APRIN, Association for the Promotion of Research Integrity)提供の研究倫理教材のように、共通で利用できる教育・研修プログラムがあるとよい。

大学間の情報共有体制

- リスク評価に関する知見(既存の規程、体制で把握できない新たなリスクの懸念が生じる取引等の事例や、そのような情報をどのように集めリスクマネジメントをしていくか等)を大学間で共有する体制があるとよい。

今後のフォローアップ

フォローアップ (政府としての対応方針(令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定))

大学・研究機関等における研修強化等の取組状況及び利益相反・責務相反に関する規程・組織の整備状況並びに研究資金配分機関等における取組状況(公募要領等の改定を含む)について、令和4年度に把握・公表し、必要に応じて当該機関に改善を求める。

【内閣府、大学・研究機関等の所管府省及び競争的研究費に関する関係府省】

	大学・研究機関等	研究資金配分機関等
調査項目	<ul style="list-style-type: none">研修強化等の取組状況利益相反・責務相反に関する規程の整備状況研究インテグリティの確保のためリスクマネジメントをする組織体制	<ul style="list-style-type: none">公募要領等の改定等の研究資金配分機関に求められる取組状況



令和4年度に、大学・研究機関、研究資金配分機関等の取組状況を調査し、現状・課題・要望等を把握した上で、必要な措置を検討

G7科学トラックにおける議論

「研究セキュリティとインテグリティにおけるG7共通の価値観と原則」文書(サマリーより)

悪意をもったアクターが存在するなか、オープンサイエンスを推進しつつ、国際共同研究を安全に進める対策を取るうえで、各国が守るべき研究インテグリティの価値観と研究セキュリティの原則を特定

各国の政府とアカデミアからなる作業部会で検討

研究インテグリティとは(抜粋)	価値観
<ul style="list-style-type: none">• 正当性、社会との関連性、研究の質を確保するための専門的価値観、原則、ベストプラクティスの遵守• 個人が自信をもって研究を追求し、頒布することを可能にするもの• 国内外の研究と共同研究の基盤。	<ul style="list-style-type: none">• Academic Freedom• Freedom from Discrimination, Harassment, and Coercion• Institutional Autonomy• Access to Research and Open Science• Equity, Diversity, and Inclusion• Fostering Public Trust• Transparency, Disclosure, and Honesty
研究セキュリティとは(抜粋)	原則
<ul style="list-style-type: none">• 研究が経済的、戦略的、国家・国際的安全保障に敵対的な意味を持つようなリスク、活動、行為• それらは、ほぼすべての場合において研究インテグリティを阻害する	<ul style="list-style-type: none">• Balancing National and Global Interests• Maintaining Openness and Research Security• Collaboration and Dialogue• Proactive Efforts• Risk Proportionality• Shared Responsibilities• Accountability and Responsibility• Adaptability



日本語ページ

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/integrity.html>

English page on Research Integrity

https://www8.cao.go.jp/cstp/english/about/research_integrity.html